

## 社会福祉学

## 専攻

## ◆筆記試験① 専門科目

以下の設問から3問を選択し、論述しなさい。

1. 日本の社会保障制度における財源構成の特徴について説明し、その持続可能性について、経済的・社会的視点から論じなさい。

(出題意図)

日本の社会保障制度の構造的な理解と論理的な論述力を測ることを目的とする。

2. 令和6(2024)年4月1日から、事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化された。合理的配慮の定義を具体的に説明し、その意義と残された課題について、論じなさい。

(出題意図)

合理的配慮の定義の理解度の確認、制度運用上の課題を社会福祉・権利保障の視点から総合的に論じる能力を測ることを目的とする。

3. 単身化社会における「家族機能の社会化」に向けた課題と方策について説明しなさい。

(出題意図)

単身化が進む現代社会において、家族が担ってきた生活支援・ケア・情緒的支えなどの機能を社会がどのように補完・代替していくべきかを理解しているかを問うものである。家族機能の変容を社会構造の変化と関連づけて説明できるか、また社会福祉政策や地域づくりの観点から課題と方策を論理的に述べる力を測ることを目的とする。

4. 子どもの貧困と教育格差の要因と課題、今後に向けた方策について説明しなさい。

(出題意図)

子どもの貧困が教育格差を通じて将来の生活機会に影響を及ぼすという社会的課題を、構造的に理解しているかを問うものである。貧困の要因、教育格差のメカニズム、現行制度の課題を整理し、社会福祉政策の観点から改善策を論じる力を測ることを目的とする。

5. 社会構築主義に基づいた実践モデルについて一つ取り上げ説明し、ソーシャルワークにおける意義について述べなさい。

(出題意図)

ソーシャルワークの理論についての知識とそれがソーシャルワークにおいてもつ意義の理解を問うものである。

6. 質的調査と量的調査の特徴・長所および限界について、社会福祉における両調査手法による調査事例を挙げて説明しなさい。

(出題意図)

質的および量的調査について正しく理解しているか、そして社会福祉領域の実際の調査に落とし込んで説明することができるかどうかを問うものである。

7. J.ロスマンが提示したコミュニティオーガニゼーションの3つのモデルについて説明しなさい。

(出題意図)

ソーシャルワークの援助技術についての知識とその理解の程度を問う問題である。

8. A.マイルズが「リッチモンドにかえれ」と言った背景について説明しなさい。

(出題意図)

ソーシャルワークの歴史について体系的に理解しているかどうかを問うものである。

◆筆記試験② 英語（研究者養成プログラムのみ）

問 1

（出題意図）

社会科学における調査・研究方法についての哲学的な基礎知識を身につけているかどうかを確認し、さらに学術論文で用いられる、やや難解な英語を正確に読みとけるかどうかを問う問題である。

問 2

（出題意図）

社会福祉や国際支援に関わりの深い「人間の安全保障」についての理解を問うとともに、学術論文で用いられるレベル相当の英語を正確に読解する能力の有無を問う問題である。

## 社会福祉学

## 専攻

## ◆筆記試験① 専門科目

以下の設問から3問を選択し、論述しなさい。

1. 介護保険制度を例に、福祉の市場化がもたらす功罪について、論じなさい。その問題について政府はどのような対策をすべきかを具体的に述べなさい。

(出題意図)

日本の社会保障制度の構造的な理解と論理的な論述力を測ることを目的とする。

2. 就業形態の多様化に関し、社会保障制度にはどのような問題が生じるのか、そしてどのような対策を行うべきかを具体的に論じなさい。

(出題意図)

合理的配慮の定義の理解度の確認、制度運用上の課題を社会福祉・権利保障の視点から総合的に論じる能力を測ることを目的とする。

3. 地域福祉の推進の主体について1つ挙げ、その役割と課題と述べなさい。

(出題意図)

単身化が進む現代社会において、家族が担ってきた生活支援・ケア・情緒的支えなどの機能を社会がどのように補完・代替していくべきかを理解しているかを問うものである。家族機能の変容を社会構造の変化と関連づけて説明できるか、また社会福祉政策や地域づくりの観点から課題と方策を論理的に述べる力を測ることを目的とする。

4. 生活困窮者への居住支援を進めるにあたっての課題と求められる方策を述べなさい。

(出題意図)

子どもの貧困が教育格差を通じて将来の生活機会に影響を及ぼすという社会的課題を、構造的に理解しているかを問うものである。貧困の要因、教育格差のメカニズム、現行制度の課題を整理し、社会福政策の観点から改善策を論じる力を測ることを目的とする。

5. バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて説明しなさい。また、このモデルに含まれる要素の例をあげるとともに、このモデルの意義と限界について論じなさい。

(出題意図)

ソーシャルワークの理論やアプローチについての理解を問うものである。

6. グループワークの展開過程と、それぞれの段階におけるソーシャルワーカーの役割について論じなさい。

(出題意図)

グループワークの手法とプロセス、およびそこでのワーカーの役割についての理解を問うものである。

7. 下記の3つの概念について説明するとともに、これらの概念をふまえたソーシャルワーク実践の意義について、具体例をあげて説明しなさい。「レジリエンス」「ヴァルネラビリティ」「ストレングス」

(出題意図)

ソーシャルワークにおけるエンパワメントの重要性についての理解を問うものである。

8. パールマンが「ケースワークは死んだ」と言った歴史的背景と、この言葉がケースワーク発展に与えた影響について述べなさい。

(出題意図)

ソーシャルワークの歴史について体系的に理解しているかどうかを問うものである。

◆筆記試験② 英語 (研究者養成プログラムのみ)

問1

(出題意図)

リーダーシップは、ソーシャルグループワークの基礎的な概念であり、和訳を求めることによって、それを理解しているかどうかを確認する。また基礎的な英語の読解力を確認する。

問2

(出題意図)

社会福祉と関連性の大きい概念の一つである「Social Protection」について述べられた文章である。「Social Protection」の概念についての理解を問うとともに、学術論文で用いられるレベル相当の英語を正確に読解する能力の有無を問う問題である。

## 社会福祉学

## 専攻

## ◆筆記試験① 専門科目※前期課程・後期課程共通

以下の設問から3問を選択し、論述しなさい。

1. 社会保険と民間保険の違いについて説明しなさい。ただし、給付・反対給付均等の原則、収支相当の原則の意味を説明しながら、文中で必ず用いること。

(出題意図)

社会保険と民間保険の本質的な違いを理解しているかを確認するための問題である。

2. 「ジニ係数」の定義とその指標の意味について説明しなさい。

(出題意図)

ジニ係数という不平等指標の定義を正確に理解しているかを確認するための問題である。

3. 「地域共生社会の実現」は、近年の社会福祉政策における中心的な理念の1つである。この理念に基づく具体的な制度や政策を挙げ、その特徴と課題を分析しなさい。

(出題意図)

「地域共生社会」という理念が、具体的な制度・政策としてどのように具現化されているかを理解しているかを問うものである。制度の特徴を整理し、政策の背景にある社会課題を踏まえながら、実施上の課題を論理的に分析する力を測ることを目的とする。

4. 福祉政策の形成には、行政、政治家、専門職、研究者、市民などさまざまなアクターが関与する。あなたが関心を持つ福祉制度を1つ選び、それが形成・改正された過程を政策過程論の観点から説明しなさい。あわせて、今後の政策形成における住民参加のあり方について、述べなさい。

(出題意図)

社会福祉政策が、多様なアクターの相互作用によって形成されるという政策過程論の視点を理解しているかを問うものである。特定の制度を取り上げ、その成立・改正の過程を説明できるか、さらに住民参加の意義と今後のあり方を論じる力を測ることを目的とする。

5. 批判的理論を用いて、社会福祉制度が再生産する格差について分析し、ソーシャルワークの介入可能性について論じなさい。

(出題意図)

この問題は、社会福祉制度を「中立的な仕組み」としてではなく、権力関係や支配構造の中で位置づけられた制度として分析できるかを問うものである。

6. ソーシャルワーカーの倫理的ジレンマの例を一つ挙げ、その背景と対応のあり方について、関連する倫理綱領や理論に言及しつつ述べなさい。

(出題意図)

ソーシャルワークの臨床現場において倫理的ジレンマが発生した際に、課題解決のための考え方の基礎を保持しているかを問うものである。これは、本専攻のアドミッション・ポリシー「(1) 社会福祉学分野における専門的知識・技能および学際的な深い教養」に該当するものである。

7. ケースワーク発展の歴史における診断主義学派と機能主義学派の関係について述べなさい。

(出題意図)

ソーシャルワークの歴史について体系的に理解しているかどうかを問うものである。

8. 「病院完結型医療から地域完結型医療への転換」の意義と課題について、医療法改正の変遷をふまえたうえで、説明しなさい。

(出題意図)

これまで医療機関を中心に医療が行われてきた日本の状況から、今後は、社会で医療・介護を支えることに方針転換をしたことに関して、その展望と限界を、多角的に論じることができるかを問うものである。これは、本専攻のアドミッション・ポリシー「(2) 社会の変革に対応できる多角的な視座や課題解決力」に該当するものである。

◆筆記試験② 英語（研究者養成プログラムのみ）※前期課程・後期課程共通

問1

（出題意図）

人種差別をソーシャルワークの観点からどれだけ理解しているか、また学术论文の英語を読み、理解できる力があるかどうかを確認する。

問2

（出題意図）

社会福祉学における基本概念である「ニーズ（必要）」についての知識を問う問題である。あわせて、学术论文の英語を読解できる能力があるかを問う。